

## 役員等報酬規程

社会福祉法人大谷

# 社会福祉法人大谷 役員等報酬規程

## (目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人大谷(以下「当法人」という)定款第8条及び第21条の規定に基づき、役員(理事及び監事)及び評議員(以下「役員等」という)の報酬等及び費用弁償について定めるものとする。

## (報酬等の支給)

第2条 役員等には、勤務形態に応じて、次の通り報酬等を及び費用弁償を支給する。

- (1) 常勤役員等については、報酬を支給する。
- (2) 非常勤職員役員等については、報酬を支給しないこととし、法人の行う場合に別表第2のとおり、費用を弁償する。ただし、交通費が次の費用弁償額を超える場合は、旅費規程に基づき、その実費相当額を別途支払うことができる。
- (3) 役員等が職務のため出張したときは、旅費規程に基づき、旅費(交通費、日当、宿泊料)を支給する。

## (常勤役員等の報酬等の算定方法)

第3条 常勤役員等に対する報酬等の額は、次の号に定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表1に定める額

## (非常勤役員等の費用弁償)

第4条 非常勤役員等が、理事長の指示または理事会の委任を受けた下記の法人業務を行う場合、次の号に定める費用を弁償する。ただし、施設長等の施設職員が役員の場合は支給しない。

- (1) 費用弁償については、別表2に定める額

## (当法人給与との併給)

第5条 当法人職員を兼務し、職員給与を支給している役員に対しては、本規程に基づく役員報酬は支給しないものとする。

## (報酬等及び費用弁償の支給方法)

第6条 常勤役員等に対する報酬等の支給時期は、次の号の定める時期とする。

- (1) 報酬については、毎月28日とする。ただし、その日が休日に当たるときは、職員給与規程第14条に準じた日とする。
- 2 非常勤役員等に対する費用弁償は、当該会議に出席した都度、支給する。

- 3 報酬等は、法令に定めるところにより控除すべき金額及び本人から申し出があったときは、立替金、積立金等を控除して支給する。

(報酬等の日割り計算)

第7条 新たに常勤役員等に就任したものには、その日から報酬を支給する。

- 2 常勤役員等が退職し、または解任された場合は、前日までの報酬を支給する。
- 3 月に途中における就任、退任、または解任の場合の報酬額については、その月の総日数から日曜日及び土曜日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りによって計算する。
- 4 本条第2項の規程にかかわらず、常勤役員等が死亡によって退任した場合、その月までの報酬を支給する。

(端数の処理)

第8条 この規程により、計算金額に1円未満の端数が生じたときは、次のとおり端数処理を行う。

- (1) 50銭未満の端数については、これを切り捨てる。
- (2) 50銭以上1円未満の端数については、これを1円に切り上げる。

(公表)

第9条 当法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第2号に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、評議員会の承認を受けて行う。

(補則)

第11条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て、別に定めるところとする。

附則 この規程は、平成29年4月1日より施行する。

別表1（常勤役員等の報酬）

役職名	報酬の額
理事長	月額400,000円

別表2(非常勤役員等の費用弁償)

## (1) 評議員

	日 額
評議員会への出席	5,000円
上記のほか、法人及び施設業務のための出勤	5,000円

## (2) 理事

	日 額
理事会等会議の出席	5,000円
上記のほか、法人及び施設業務のための出勤	5,000円

## (3) 監事

	日 額
監事監査等への出席	5,000円
上記のほか、法人及び施設業務のための出勤	5,000円